

2012年3月期 決算説明会

2012年4月27日

NECネットエスアイ株式会社
執行役員社長 山本 正彦



- 1. 2012年3月期実績概要**
- 2. 2013年3月期 事業遂行方針
および業績予想**
- 3. 成長に向けた取組み**

1. 2012年3月期実績概要

2012年3月期のポイント

**成長注力分野(企業NW、キャリアNW)は伸張。
社会インフラが想定以上に減少し、減収減益**

ターンアラウンドに向けて

- **成長投資の実行**
- **社会インフラの構造改革**

2012年3月期 業績サマリー

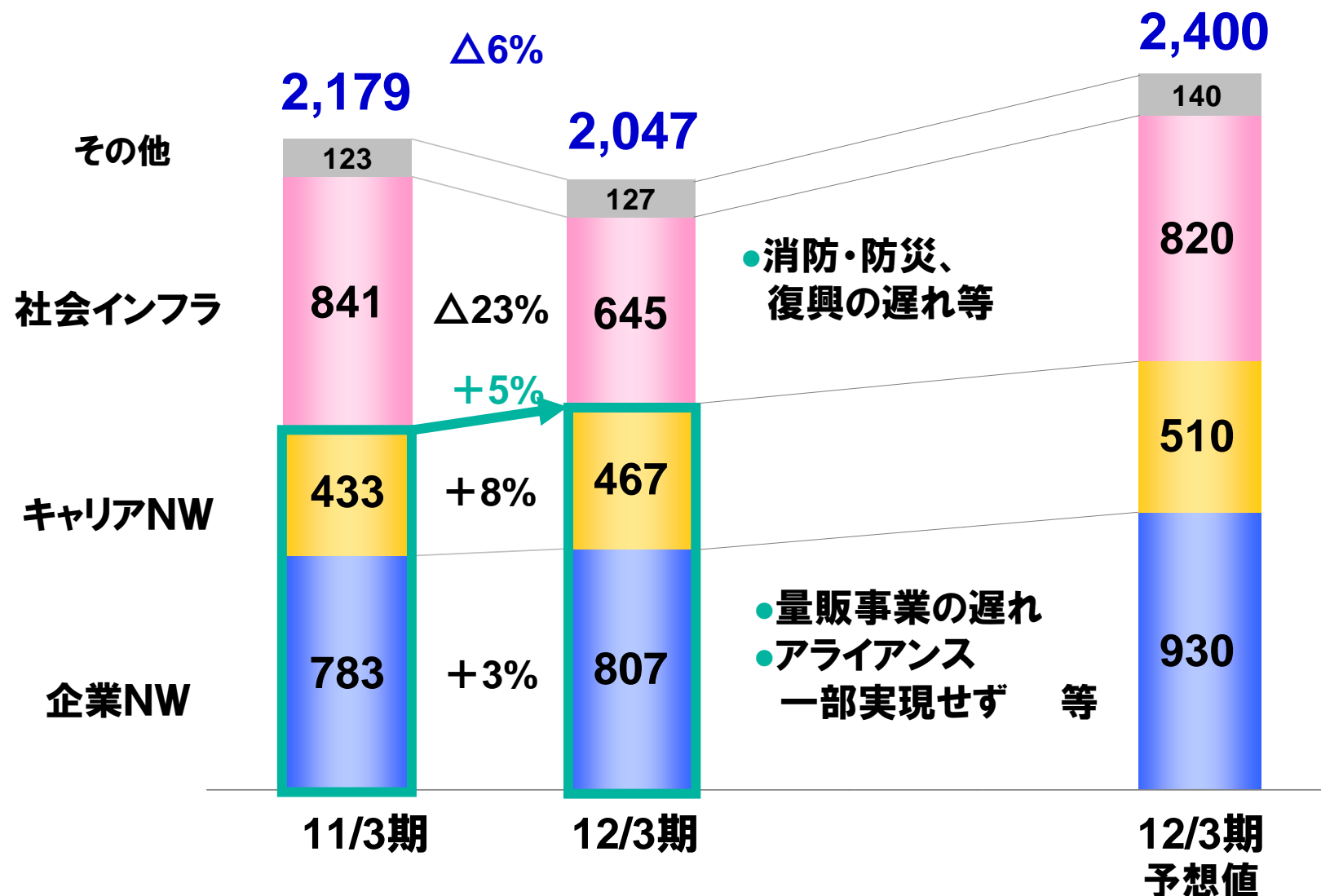
(単位:億円)

	11/3期 実績	12/3期 実績	前年 同期差/比	前回予想差 (1月26日)
受注高	2,123	2,154	+1.5%	-
売上高	2,179	2,047	△6.1%	△353
営業利益 (営業利益率)	108 (5.0%)	97 (4.8%)	△11 △0.2pt	△13 +0.2pt
特別損益※1	△26	0	+26	-
当期純利益 〔税制改正に伴う繰税取崩しの影響除く〕 (当期純利益率)	47 (2.2%)	57 (2.8%)	+9 +0.6pt	-
税制改正に伴う繰税取崩し	-	11	△11	-
当期純利益 (当期純利益率)	47 (2.2%)	46 (2.2%)	△2 ±0.0pt	△5 +0.1pt
ROE	6.3%	5.9%	△0.4pt	
フリー・キャッシュ・フロー	△35	161	+196	

※1:本社移転等に伴う特別損失

2012年3月期 セグメント別売上高

(単位:億円)

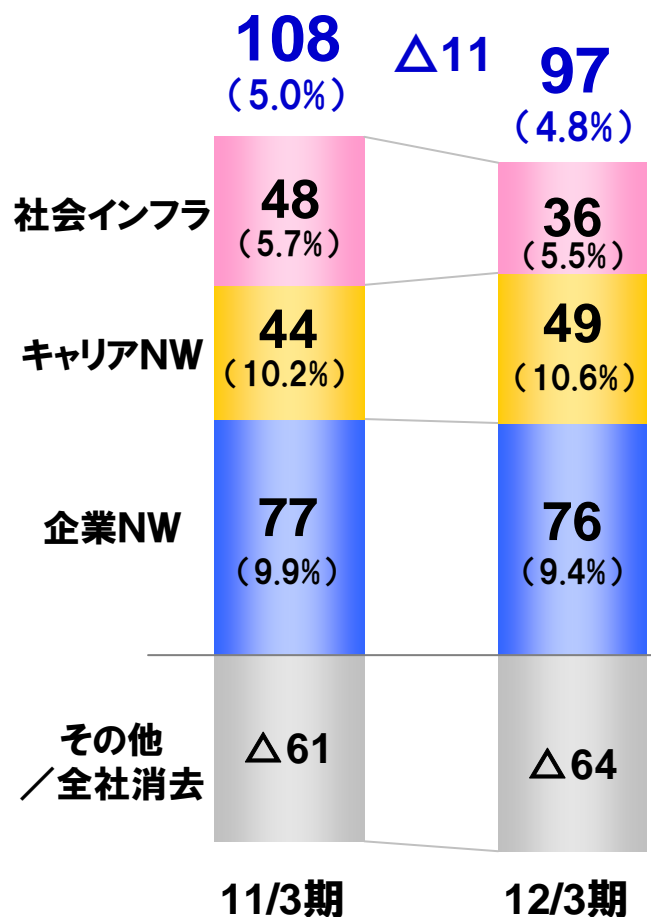


2012年3月期 セグメント別営業利益

(単位:億円)

()内は利益率

社会インフラの売上減により営業減益



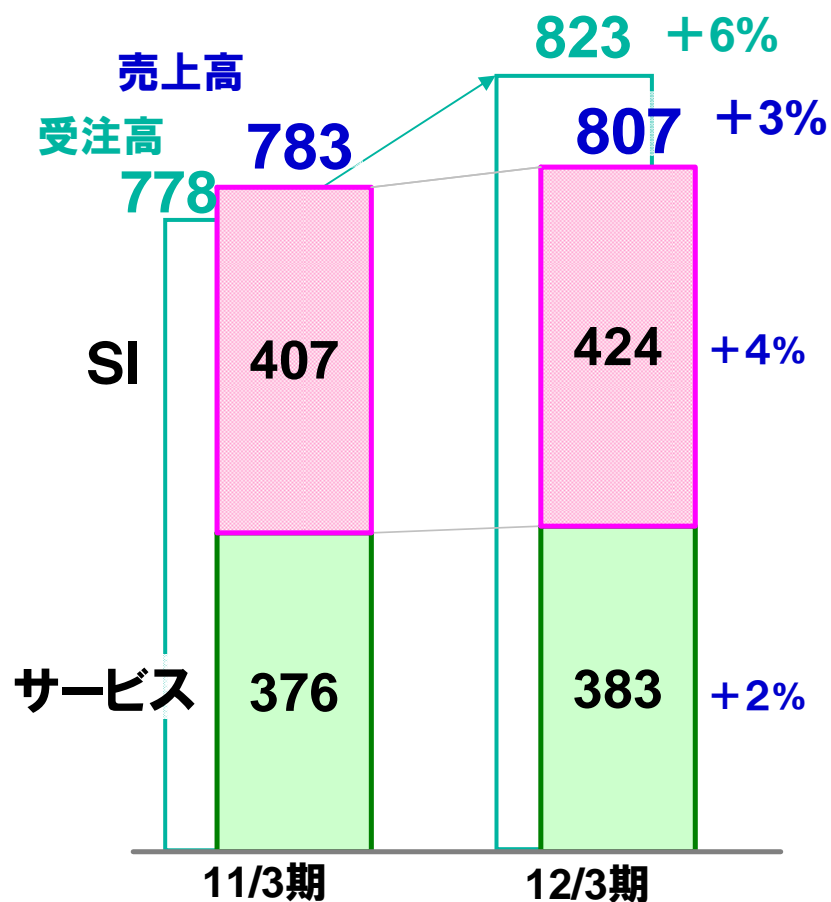
- **企業NW:**
成長投資(8億円)を吸収し、前期並み確保
- **キャリアNW:**
売上増および業務効率化により増益継続
- **社会インフラ:**
売上の大幅減+構造改革遅れで減益。
下期は、売上減も改革成果で前年並み確保

成長投資費用(△13億円)

- 事業成長への投資
 - ・営業要員増、データセンター増強
- 成長の為の業務改革、アライアンス関係 等

2012年3月期 企業ネットワーク事業

(単位:億円)



経営改革ニーズをとらえ、 着実に成長

● EmpoweredOfficeが続伸

- ・関連受注:290億円
- ・コンサルティングからの受注が増加
～大手製造業、大手金融業からも受注

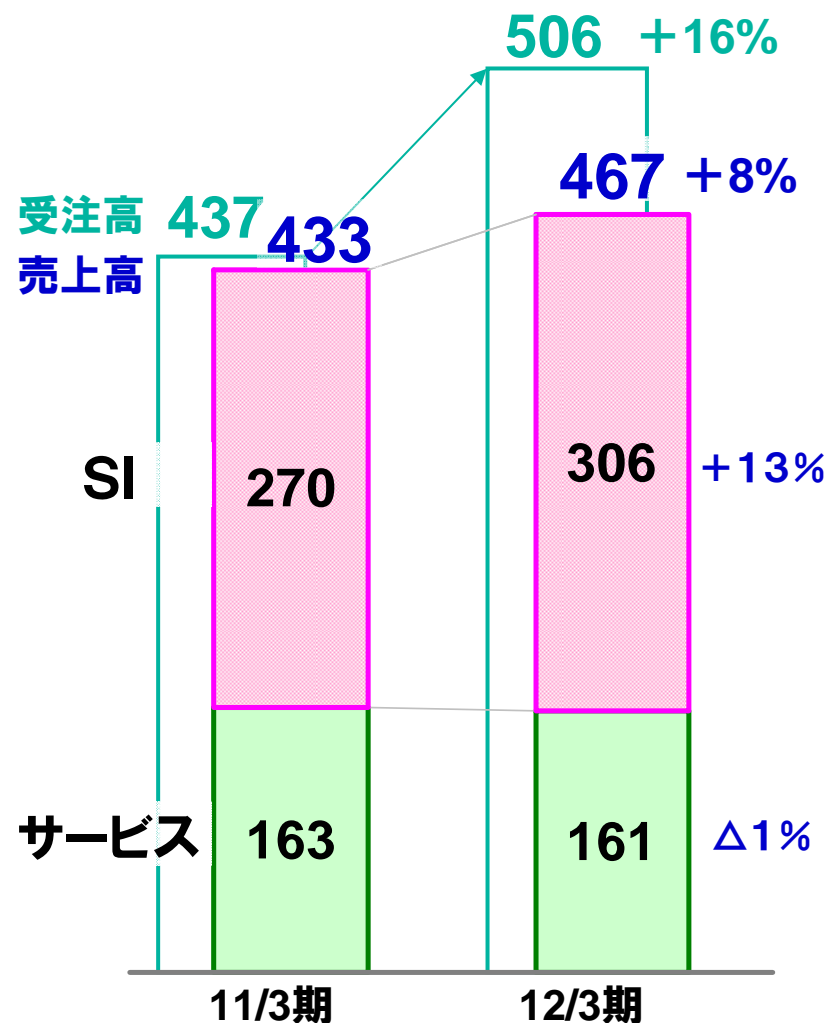
● サービス事業は拡大基調へ

- ・第一アドも貢献

中堅企業の開拓に成果

2012年3月期 キャリアネットワーク事業

(単位:億円)



スマートフォン普及による投資増の機会を捉え拡大

- マルチベンダー対応は着実に拡大
- キャリアと連携したサービスをスタート

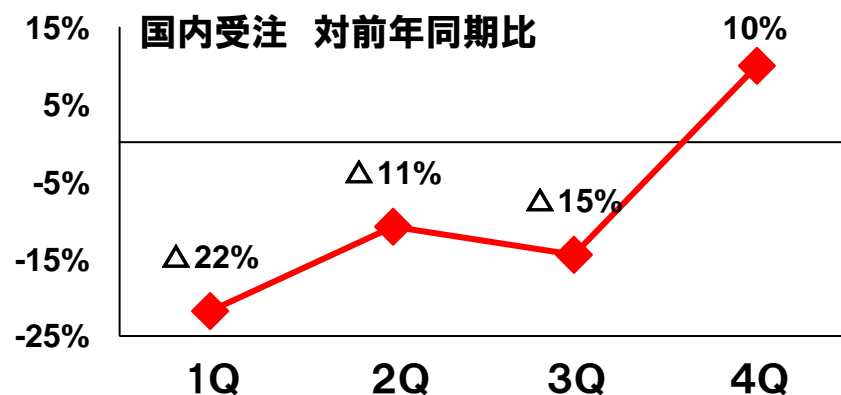
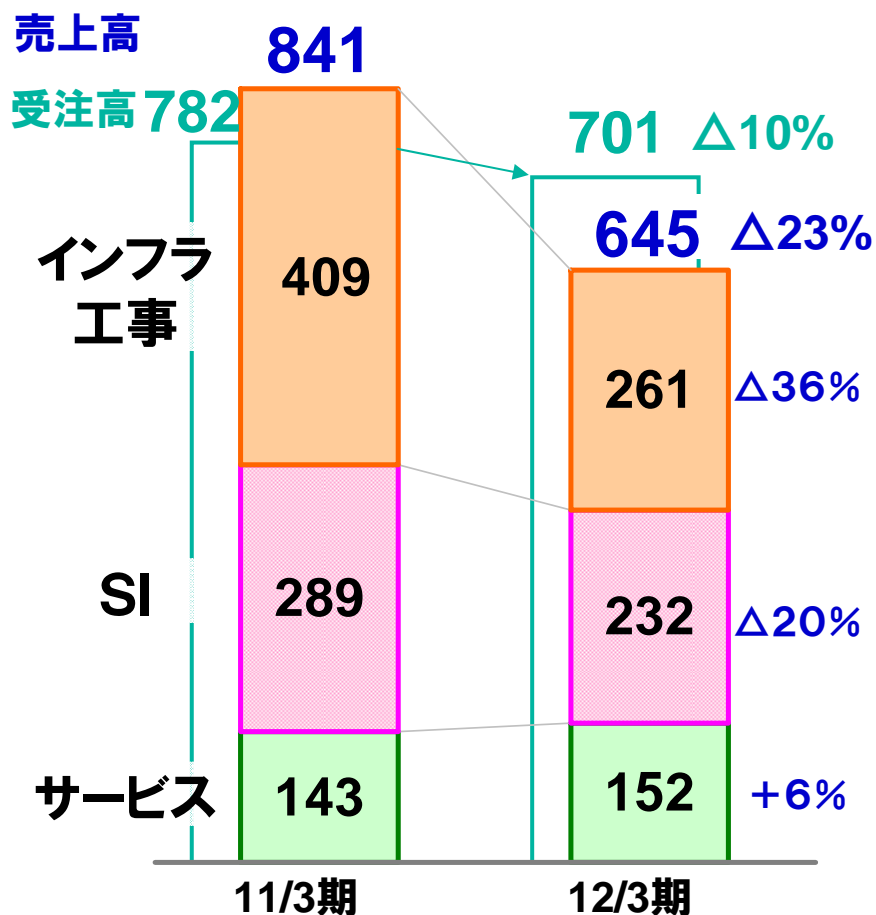
例. スマートデバイスを活用した地域情報サービス

サービス事業は、ハード保守減少を統合保守でカバー

2012年3月期 社会インフラ事業

(単位:億円)

売上減なるも受注は底打ち感



・消防、防災事業が本格化
(消防売上: +55%)

・放送システム関連保守により
サービスが拡大

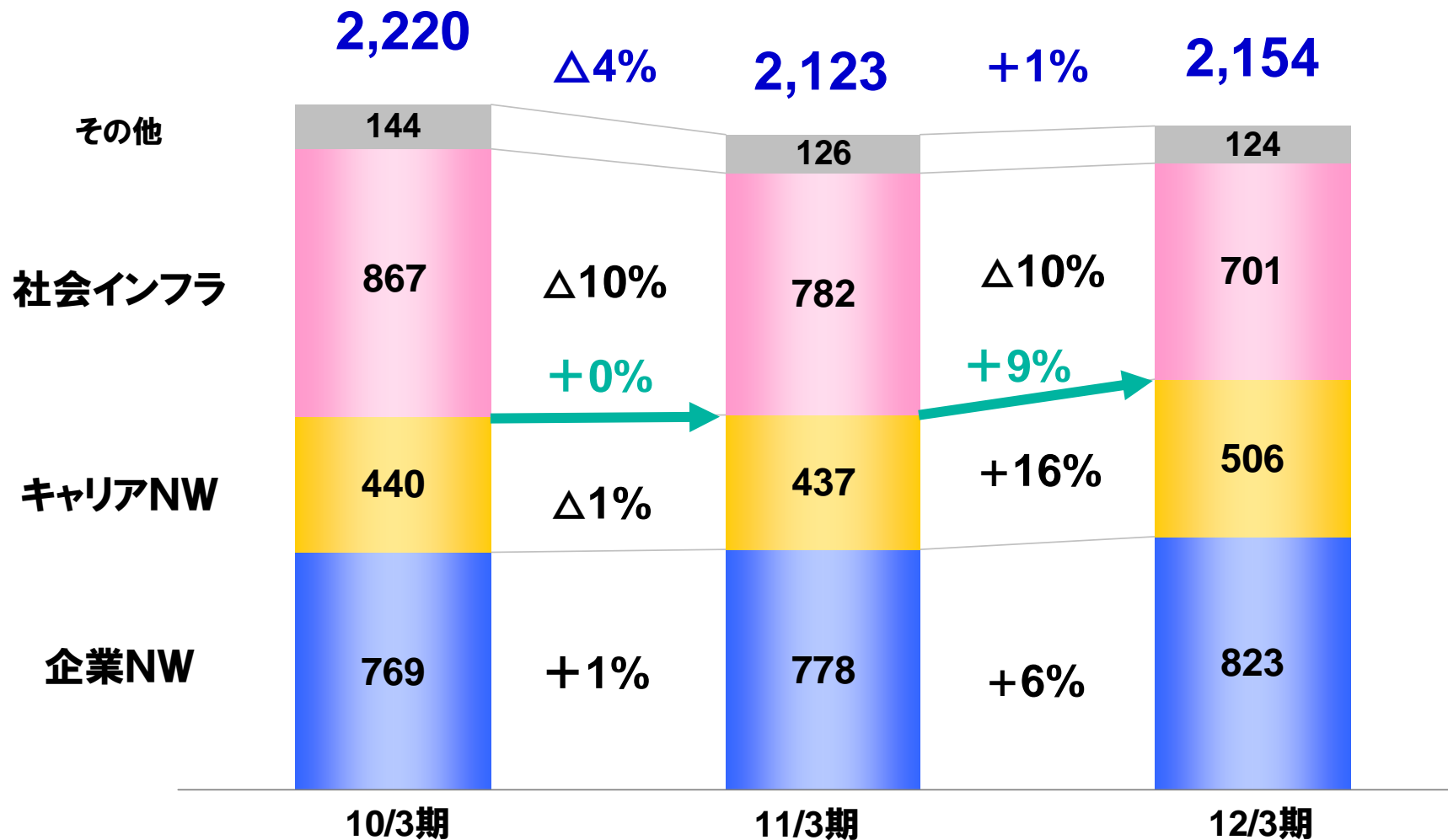
2012年3月期 バランスシート

(単位:億円)

		11/3末	12/3末	増減
	現金及び現金同等物	256	376	120
	受取手形及び売掛金	863	732	△131
	たな卸資産	71	80	9
	その他流動資産	73	64	△9
流動資産合計		1,264	1,252	△11
固定資産合計		236	245	9
資産合計		1,499	1,497	△2
	買入債務	314	303	△10
	借入金	63	40	△23
	その他負債	348	347	△1
負債合計		725	691	△34
	株主資本合計	774	807	32
	その他の包括利益累計額	△5	△6	△1
	少数株主持分	6	6	0
純資産合計		775	807	32
負債純資産合計		1,499	1,497	△2
自己資本比率		51.3%	53.5%	+2.2pt

参考：2012年3月期 セグメント別受注高

(単位:億円)



2. 2013年3月期 事業遂行方針 および 業績予想

成長注力分野

- **企業ネットワーク事業**
 - ・ 投資活性化の兆し。
経営改革に直結するニーズの高まり
- **キャリアネットワーク事業**
 - ・ スマートフォン普及によるネットワーク強化の継続

安定事業分野

- **社会インフラ事業**
 - ・ 消防・防災デジタル化の本格化
 - ・ 震災復興の具体化

■ 再成長へ向けたターンアラウンド

- 2011年3月期 + α へ回復
- 成長への積極投資拡大
~12/3期比 倍増

2013年3月期 業績予想

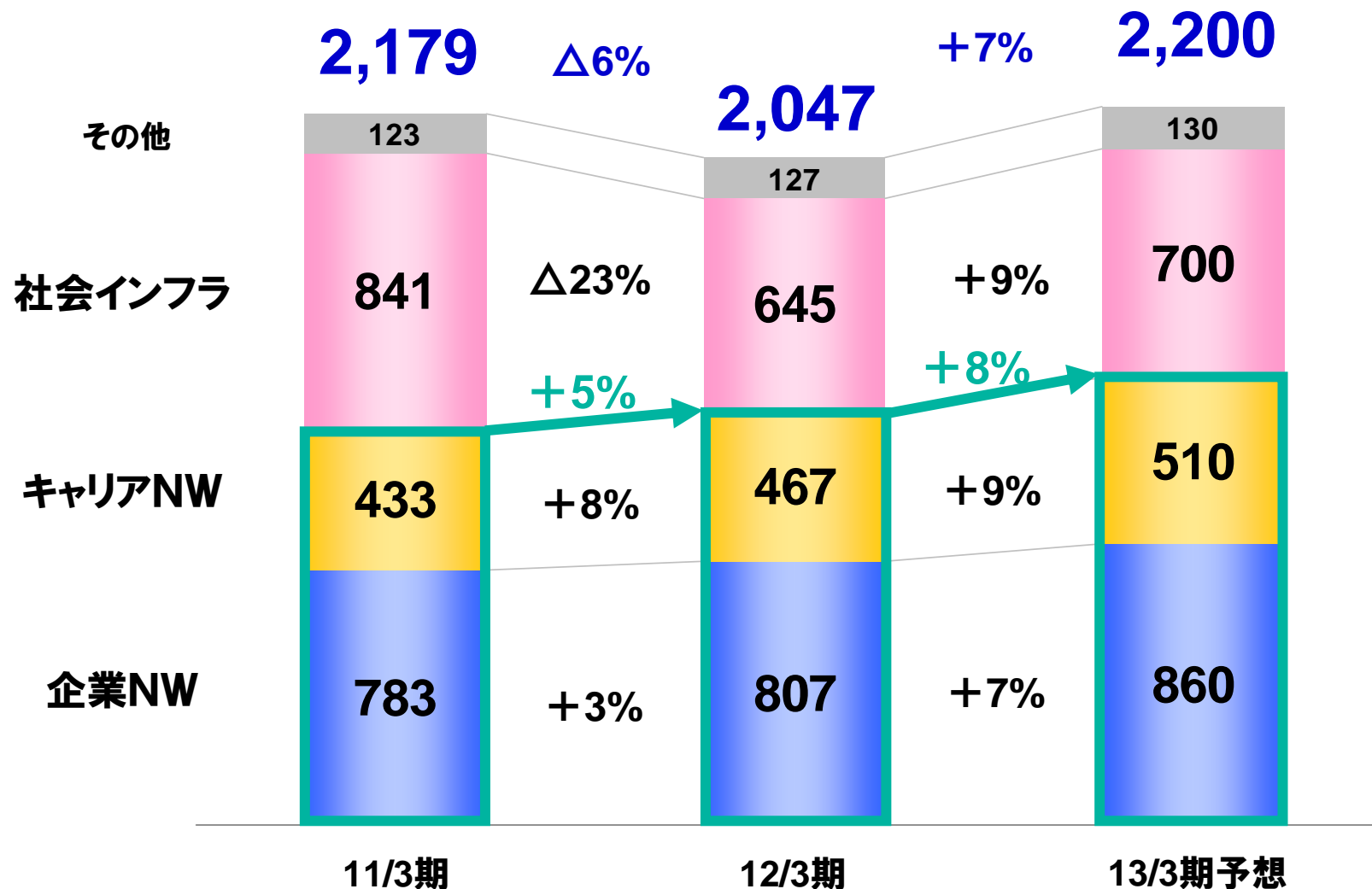
(単位:億円)

	13/3期 予想値	12/3期 実績	前年比	【参考】 11/3期実績
売上高	2,200	2,047	+7.5%	2,179
営業利益 (営業利益率)	105 (4.8%)	97 (4.8%)	+8 ±0.0pt	108 (5.0%)
当期純利益 (当期純利益率)	62 (2.8%)	46 (2.2%)	+16 +0.6pt	47 (2.2%)

(※予想値は、2012年4月27日現在)

2013年3月期 セグメント別売上予想

(単位:億円)

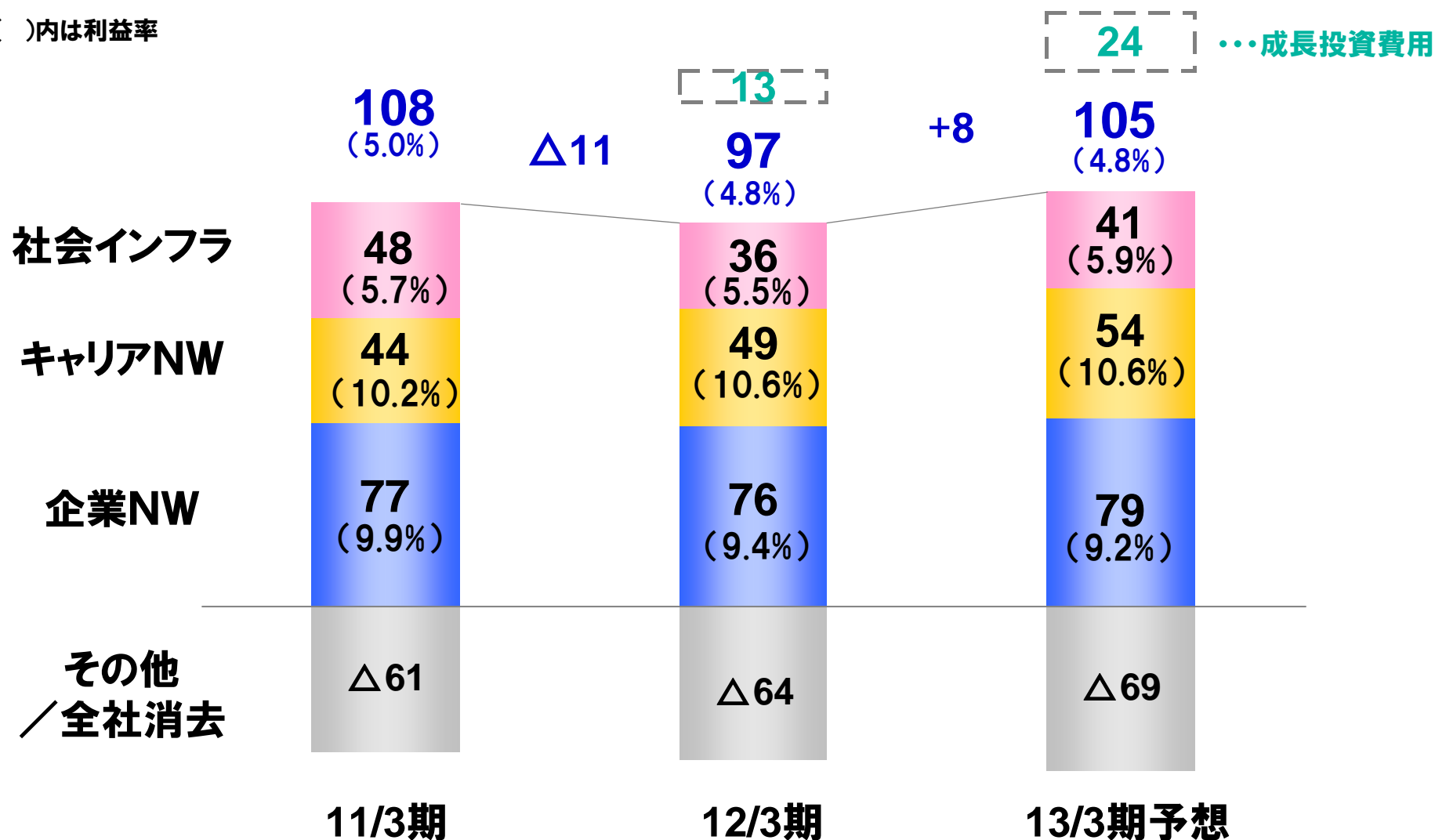


(※予想値は、2012年4月27日現在)

2013年3月期 セグメント別営業利益予想

(単位:億円)

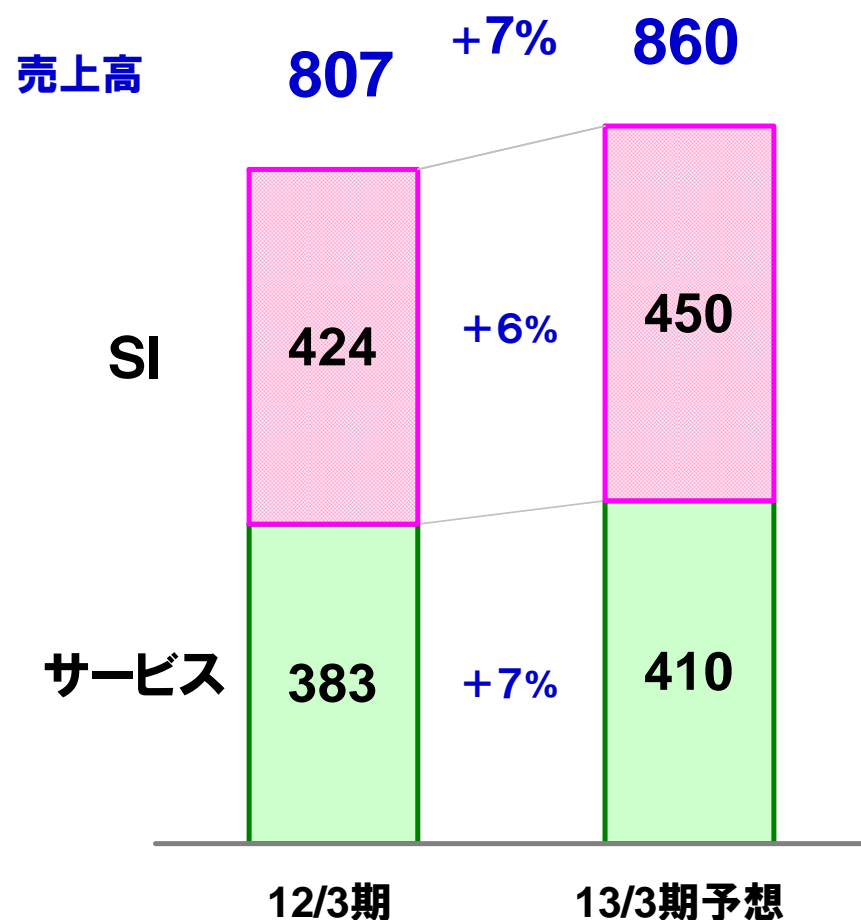
()内は利益率



(※予想値は、2012年4月27日現在)

2013年3月期 企業ネットワーク事業 売上予想

(単位:億円)



(※予想値は、2012年4月27日現在)

お客様の経営改革ニーズに応えたサービス提供力の強化

- EmpoweredOffice

- コンサルティング力の強化

- ICT利活用から

- トータルオフィスコーディネートへ

- BPOサービス

- もしもしホットラインとの業務提携

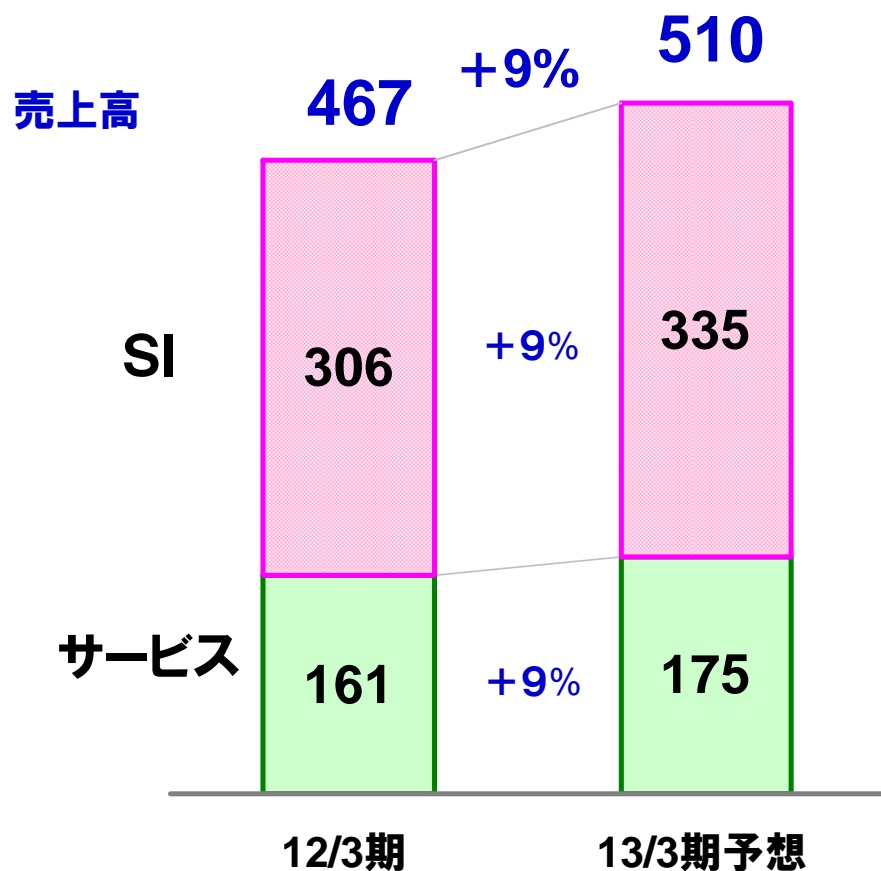
新規顧客の更なる開拓

- 中堅企業

- 関西、中部の中核企業

2013年3月期 キャリアネットワーク事業 売上予想

(単位:億円)



■ 継続するネットワーク強化の
需要へ積極対応

■ 新顧客＋新領域開拓で
サービス拡大

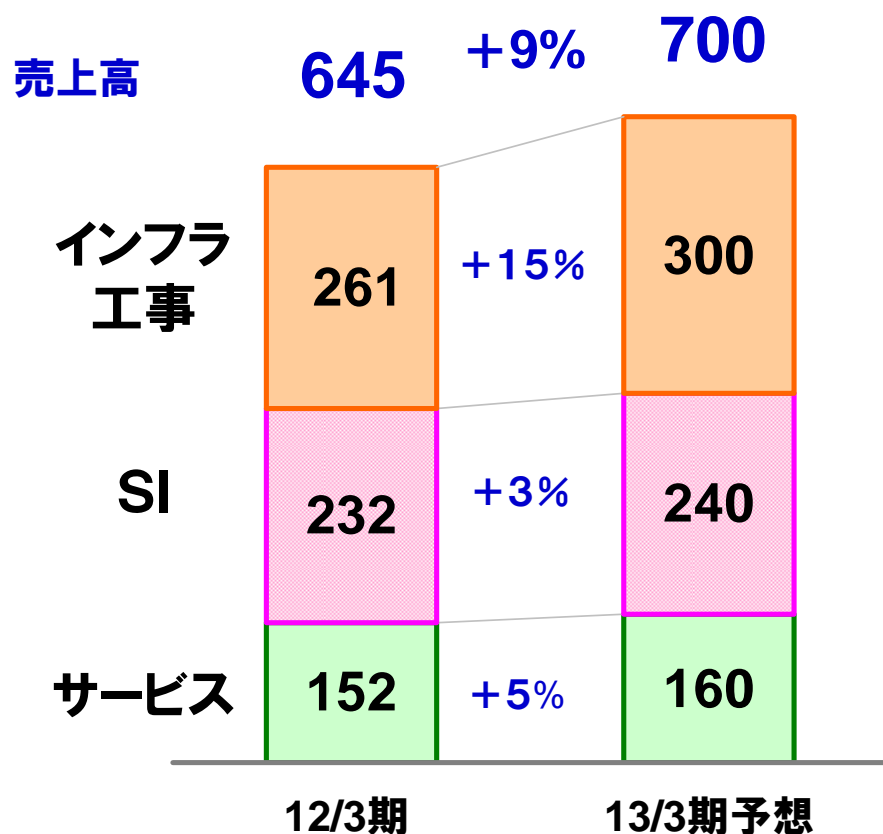
■ 個別分野への着実な対応

- 海底地震計システム事業

(※予想値は、2012年4月27日現在)

2013年3月期 社会インフラ事業 売上予想

(単位:億円)



プロジェクト管理力を強化し 顕在化ニーズに着実に対応

- 消防・防災システムのデジタル化
- 移動体基地局工事の拡大

被災地復興プロジェクトは 徐々に顕在化

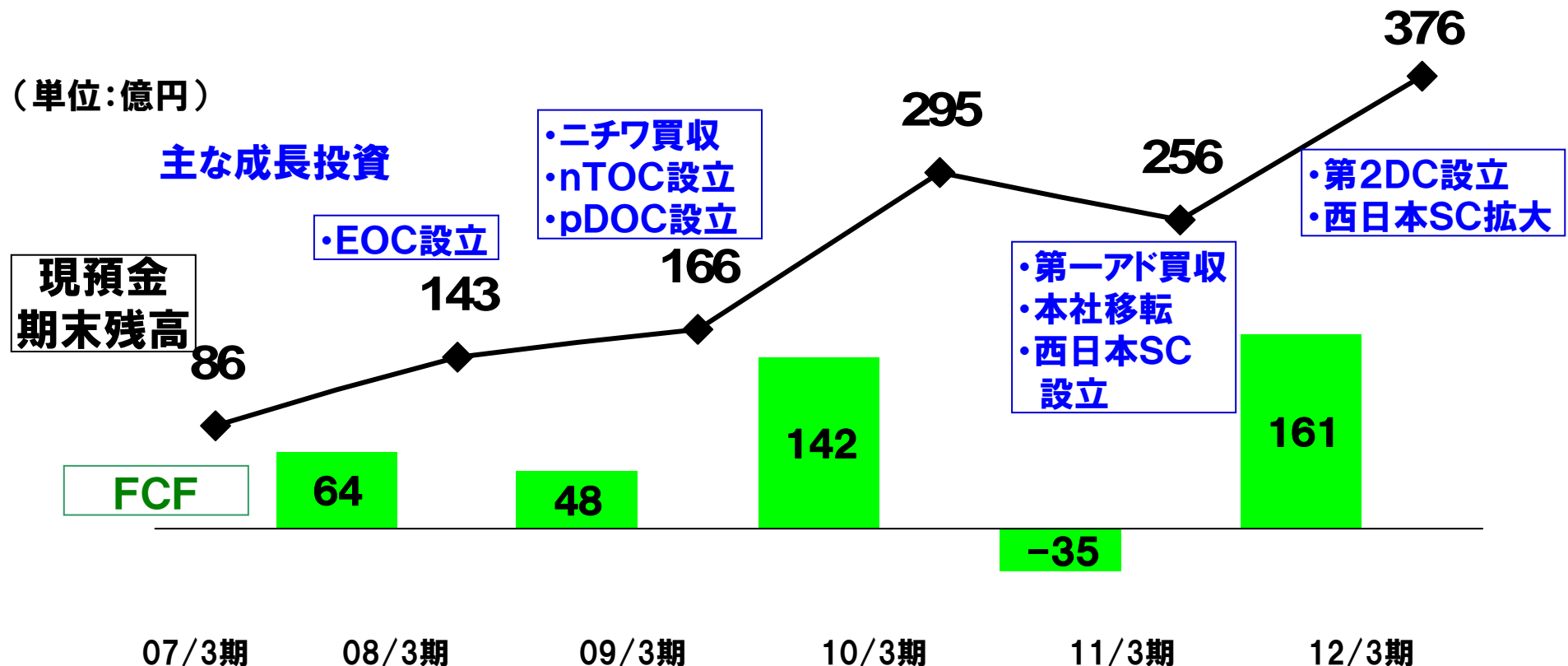
- 防災無線、CATV網などの
インフラ復旧

(※予想値は、2012年4月27日現在)

成長に向けたキャッシュ・フローの状況

■ 投入管理強化や、前年度末に集中した大型プロジェクトの回収により、FCFが大きく改善

⇒手許金の大幅増を、成長投資の加速と配当拡大に

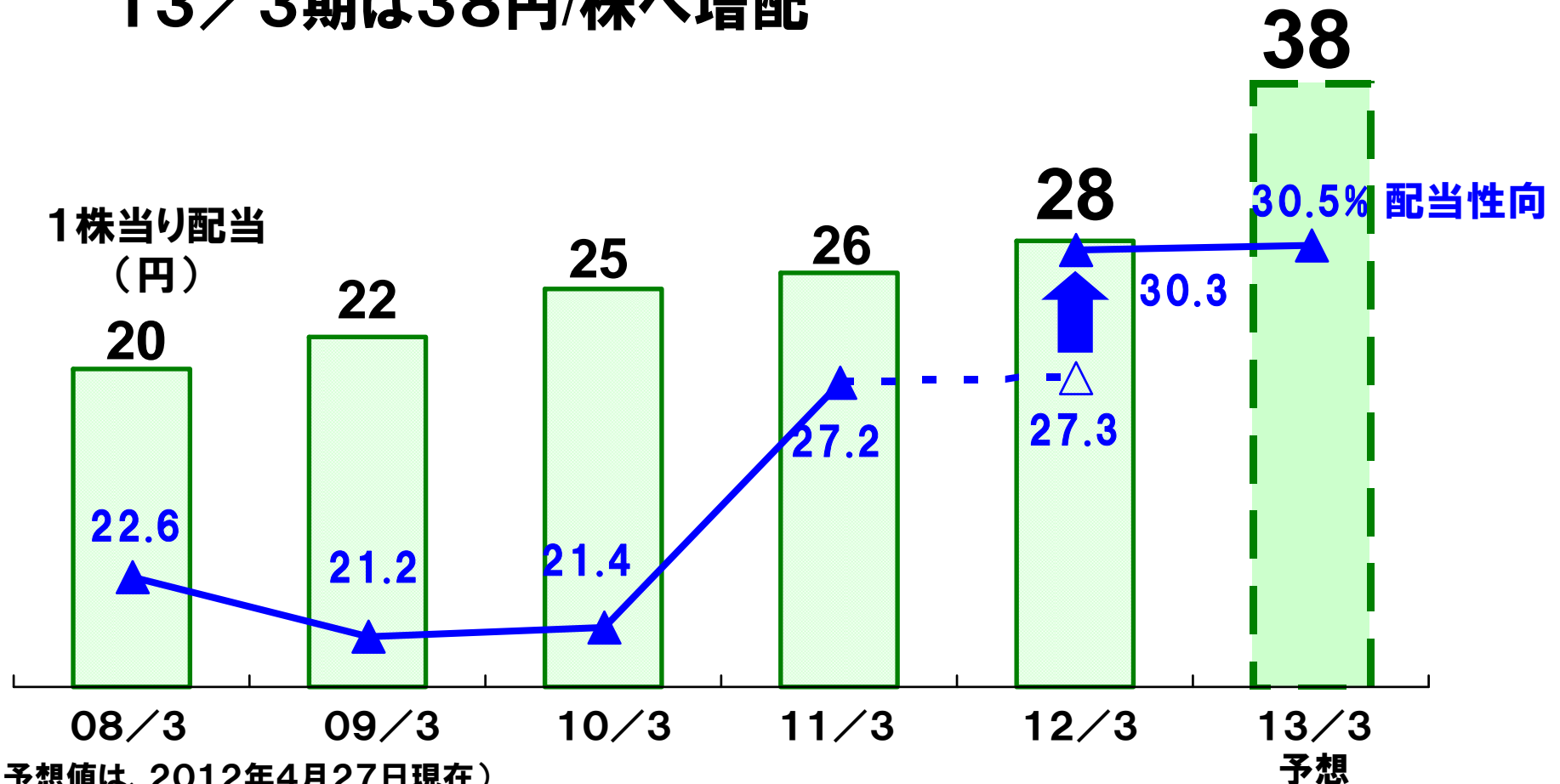


配当について

成長投資を重視しつつ、株主還元を拡大

⇒12/3期は利益予想比減も配当は予想維持

13/3期は38円/株へ増配



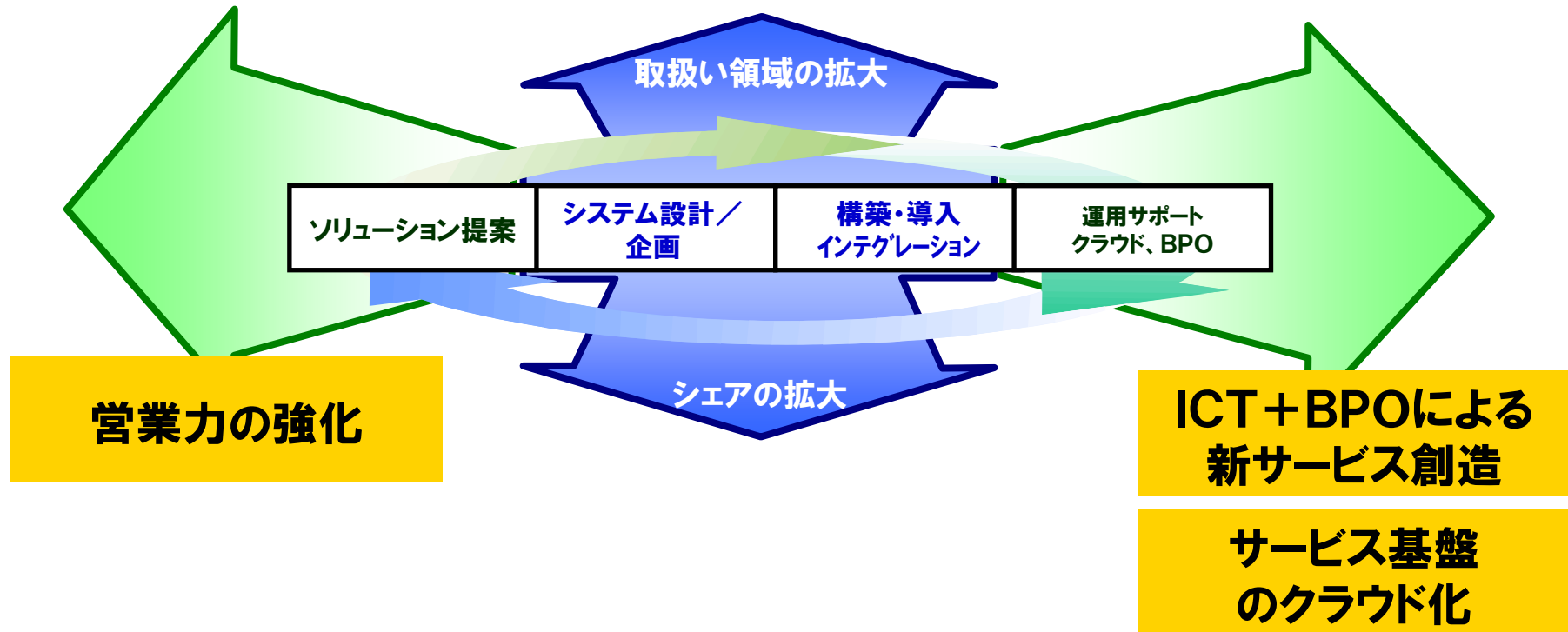
(※予想値は、2012年4月27日現在)

3. 成長に向けた取組み

事業拡大の方向性(サービス領域の拡大)

顧客起点での
ソリューション提案力強化

サービス事業拡大・基盤強化

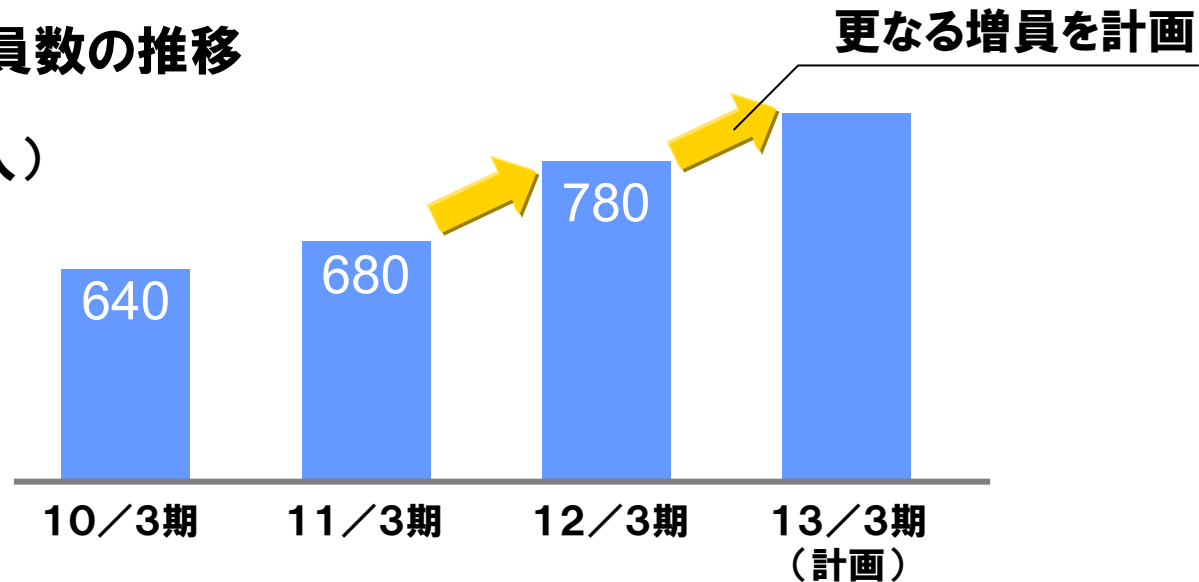


取組み①:トップライン拡大に向けた営業力の強化

営業人員のさらなる増強

営業部門人員数の推移

(単位:人)



営業効率の向上 → 顧客対応時間を2割アップ

- 情報共有加速による商談スピードアップ
-ICTによるセールス・サポート・システムの活用
- 成長分野へのリソース・シフト

取組み②: サービス事業拡大に向けた基盤強化

■ 経営改革ニーズに応えた新サービスの創造

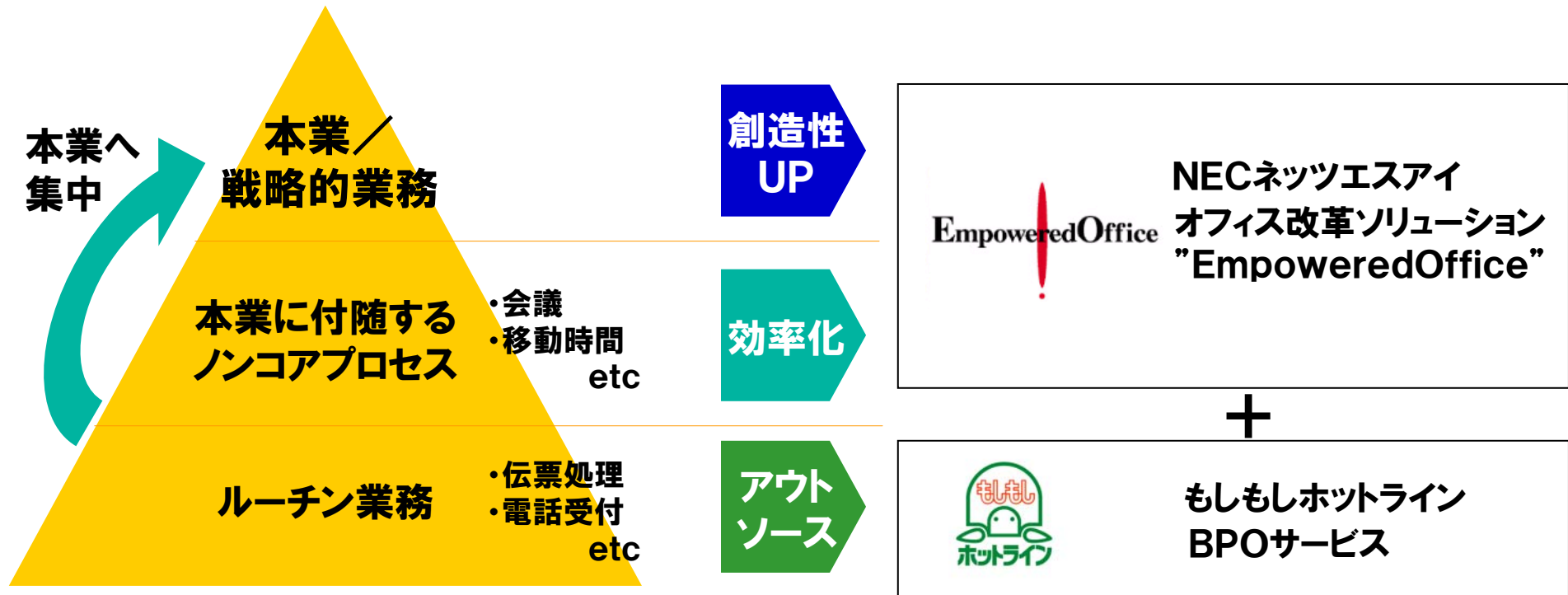
- ICTとBPOの融合へ向けたアライアンスの推進
 - もしましホットライン社との業務提携

■ 基盤クラウド化によるサービス事業の強化

経営改革ニーズに応えた新サービスの創造

もしもしホットライン社との業務提携

- ICT+BPOでお客様の経営改革ニーズをサポート



基盤クラウド化によるサービス事業の強化

お客さま

BPO
サービス

パートナー活用(=価格競争力強化)による
サービスの拡大

第一アドシステムの子会社化

+

もしもしホットライン
との業務提携

コールセンター

BPO(シェアドサービス)

サービス
事業拡大

積極投資で
事業拡大

クラウド・
サービス

サポート・
サービス

保守

関西サービスセンター
(大阪)

第1&2データセンター
(関東近郊)

nTOC、pDOC

全国保守体制(全国330超のサービス拠点)

サービス事業基盤のクラウド化

基盤の
継続強化

まとめ

■ 今年は、新創業の時代(創立60周年)の礎を築く年



本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないために、リスクや不確定要因を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などであり、ります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

NEC

NEC ネットワークエスアイ株式会社
NEC Networks & System Integration Corporation

www.nesic.co.jp